



平成31年4月23日

各 位

会社名 東 海 運 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 長 島 康 雄
 (コード番号: 9380 東証第一部)
 問合せ先 執行役員企画管理部長 中 山 典 昭
 (TEL. 03-6221-2201)

固定資産の減損損失（特別損失）の計上及び平成31年3月期通期連結業績予想の修正のお知らせ

当社が展開するその他事業において、下記のとおり、固定資産の減損損失を特別損失として計上いたしましたのでお知らせいたします。また、平成30年5月11日公表の平成31年3月期通期連結業績予想の修正につき、お知らせいたします。

記

1. 固定資産の減損損失の計上

当社のその他事業におきまして、植物工場の収益性の低下による減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、平成31年3月期連結決算において、当社が保有する植物工場設備等の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、472百万円を減損損失として特別損失に計上する見込みとなりました。

その他事業につきましては、今後も植物工場の収量安定化に向けた取り組みを継続するとともに、商品の競争力の確保に努め、収益力の改善に取り組んでまいります。

なお、平成31年3月期連結決算における減損損失（特別損失）の計上予定額は、上記を含め合計511百万円であります。

2. 連結業績予想の修正

(1) 平成31年3月期通期連結業績予想の修正について（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
年 初 予 想 (A)	41,355	811	851	418	15.06
今 回 予 想 (B)	41,976	652	718	325	11.72
増 減 額 (B - A)	620	△158	△133	△92	
増 減 率 (%)	1.5	△19.6	△15.6	△22.2	
(参考) 前期実績 (平成30年3月期)	40,938	772	792	549	19.75

(2) 修正の主な理由

営業収益、営業利益及び経常利益につきましては、物流事業と海運事業において、国内の建設需要の高まりなどにより輸送量が増加した一方、物流事業における下請費上昇やその他事業における植物工場の目標収量未達により、年初予想に比べ増収減益となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、本年3月29日にお知らせいたしましたとおり、投資有価証券売却益301百万円を特別利益として計上いたしました。また、経常利益の減少に加え、上記「1. 固定資産の減損損失の計上」に記載したその他事業をはじめとする減損損失511百万円を特別損失として計上したため、年初予想を下回る結果となりました。

なお、期末配当予想につきましては、年初予想どおりの1株当たり3円から変更はありません。

以上